平成 28 年度事業計画

I　公益目的事業［1］

（1）研究発表会事業

1）2016 年春季低温工学・超電導学会（通算第 93 回）

・会期 : 2016 年 5 月 30～6 月 1 日

・会場 : タワーホール船堀（東京都江戸川区）

2）2016 年秋季低温工学・超電導学会（通算第 94 回）

— 第 1 回 ICMC アジア会議-CSSJ50 周年記念合同国際会議—

・会期 : 2016 年 11 月 7～10 日

・会場 : 歌劇座（金沢市）

3）調査研究会として、次の 6 テーマを実施する。

・「応用熱音響研究会」（継続）

・「新中温度域超伝導材料の特性制御に関する調査研究会」（継続）

・「磁場の多様性と利活用に関する調査研究会」（新規）

・「高温超伝導バルク体の磁気的挙動に関する応用調査研究会」（新規）

・「高温超電導磁石を適用した磁気浮上式鉄道のシステム検討調査研究会」（新規）

・「低温工学現代技術史編纂調査研究会」（新規）

（2）学会誌出版事業

1）第 51 巻 4 号～52 巻 2 号の 7 冊を発行する。

2）特集テーマを予定している。

3）設立 50 周年記念号(第 51 巻第 4 号)を発行する。

（3）国際交流事業

1） 若手研究者国際交流支援を行う。

2） 第 1 回 ICMC アジア-CSSJ50 周年合同会議の支援を行う。

3） アジアと連携し、アジア超電導サマースクールを開催する。

（4）広報・広告関連事業

1）プレスリリース等社会に対する広報広告活動を実施する。

2）学会員、賛助会員及び支部の事業会員への広報活動を実施する。

3）広告の充実化活動を実施する。

（5）ホームページ事業

1）ホームページの維持・更新を継続する。

2）ホームページの英語版を充実する。

3）製品マップ等情宣活動を行う。

（6）教育・セミナー事業

1）極低温技術スクールを 1 回開催する。

2） 市民公開講座を基盤強化 WG と連携して 11 月に開催する。

（7）環境・安全関係事業

1）低温機器の実情に即した法規の検討を行う。

2）安全技術マニュアルを作成する。

（8）研究会事業

1）材料研究会として、シンポジウムを 4 回開催する。

2）超電導応用研究会として、シンポジウムを 4 回開催する。

3）超電導応用研究会が主体となって、「基本方針」使命 3 の実施活動を行う。

（9）関西支部事業

1）支部総会を 1 回開催する。

2）定例講演会を 4 回開催する。加えて、若手合同講演会を開催する。

3）第 32 回基礎技術講習会を開催する。

4）役員会を年 4 回開催する。

5）信貴賞及び若手奨励賞を授与する。

(10) 東北・北海道支部事業

1）支部総会、講演会、見学会、懇親会を各 1 回開催する。

2）研究会（材料研究会と共催）を 1 回開催する。また、優秀発表賞を授与する。

3）超電導・低温若手セミナーを 1 回開催する。

4）市民講演会を 1 回開催する。

5）合同学術講演会を 1 回開催する。

6）役員会を年 3 回開催する。

(11) 九州・西日本支部事業

1）支部総会・企業セミナーを1回開催する。

2）若手セミナー・支部成果発表会を1回開催する。

3）研究会・外国著名研究者の特別講演会を開催する。

4）超電導・低温技術レポート2016をまとめる。

5）地域理科教育支援活動を実施する。

6）役員会を4回開催する。

7）支部長賞及び支部奨励賞を授与する。

(12) 冷凍部会事業

1）例会として、講演会、見学会等を 8 回開催する。

2）委員会として、例会事業、併設展示会、低温技術講習会に関する実行計画、次年度事業計画を策定する。

3）学会併設展示会を春季に開催する。

4）年間講演集を発行する。

(13) 基盤強化事業

1）製品マップ等関連ホームページを充実する。

2）若手の会並びに女性部会の活動を活性化する。

(14) コミュニケーション事業

当初の目的を達成するための研究調査テーマの募集・実施を行う。

(15) 低温技術講習会事業

低温技術講習会を 1 回開催する。

(16) 設立 50 周年記念事業

1）低温工学・超電導学会設立 50 周年記念事業記念式典等を 5 月に実施する。

2）第 1 回 ICMC アジアーCSSJ50 周年記念合同国際会議を 11 月に実施する。

II　公益目的事業［2］

（1）褒賞事業

1） 平成 28 年度褒賞

・論文賞　（低温工学　第４９巻、第５０巻）

受賞者 : 谷口博康（(株) 大阪合金工業所)、長村光造（(公財) 応用科学研究所)、菊池章弘 (物質・材料研究機構)、水田泰次（(株) 大阪合金工業所)

受賞対象論文：「Nb3Sn 超電導線用高 Sn ブロンズ中の Ti 基三元化合物の挙動」、「低温工学」50 巻 4 号(2015) 186-193 頁

・技術進歩賞（低温工学　第 49 巻、第 50 巻）

受賞者：宮崎佳樹、池田和也、長谷川均（(公財）鉄道総合技術研究所)）、平野直樹（中部電力（株)）、野口芳直、岡村哲至（東京工業大学）、裵 相哲（サンデン（株)）、川南 剛（神戸大学）

受賞対象論文：「１kW 級室温磁気ヒートポンプの開発」、「低温工学」50 巻２号 (2015) 80-87 頁

・奨励賞

受賞者：堀出　朋哉（九州工業大学）

・業績賞（学術業績）：

受賞者：西嶋　茂宏（大阪大学）

・業績賞（工業技術業績）：該当者なし

・功績賞（学術・技術功績）：

受賞者：能登　宏七（岩手大学名誉教授）

・功績賞（学会活動功績）：

受賞者：上岡　泰晴（コールドテック）

・発表賞　受賞者：

櫻井武尊（日本原子力機構）「ITER TF コイル構造物　実機材料の極低温引張特性評価」

秋山康子（大阪大学）「磁気力制御を用いたセシウム汚染土壌の減容化に関する研究～磁気分離のための前処理方法～

石田茂之（産業技術総合研究所）「１２２系鉄系超伝導体の臨界電流特性のドーピング依存性」

菊池章弘（物質・材料研究機構）「新しい Nb/Al ジェリーロール前駆体線材」

池田愛花（早稲田大学）「m 級無絶縁 REBCO パンケーキコイルの基礎特性評価：局所的常電導転移時における負荷率と銅安定化層厚みの熱的安定性に対する影響」

今市洋平（早稲田大学）「高磁場 MRI 用高温超電導磁石開発の進捗（15 年秋）-REBCO マルチコイルにおける異常横磁界効果の評価ー」

勝俣一輝（早稲田大学）「m 級無絶縁 REBCO パンケーキコイルの基礎特性評価：局所的常電導転移時における層間接触抵抗の熱的安定性に対する影響」

上津原 大（九州大学）「長尺 RE-123 線材における局所臨界電流の長手方向分布の統計性に関する考察」

吉原健彦（住友電気工業（株)）「単層バッファー配向クラッド金属基板を用いた薄膜高温超電導線材の開発」

小林浩二（大阪大学）「核融合炉用超電導磁石絶縁材料の照射効果に関する研究-マトリックスと界面の照射効果の検討」

２）平成 28 年度フェロー顕彰

・認定者：浅野克彦、大平勝秀、上岡泰晴、佐藤謙一、沼澤健則、山田忠利

III　法人関連事業（共催、協賛及びシンポジウム・講演会等）

１．社員総会・理事会等に関する事項

（１）第６回社員総会

１）日時：2016 年５月 31 日、13:30-14:15

２）場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区）

３）議案：平成 27 年度決算

４）報告：平成 28 年度予算計画

（２）理事会開催　定例４回、臨時理事会１回

（３）運営委員会開催　４回

２．共催、協賛及び後援のシンポジウム・講演会等

１）日本伝熱学会主催「第 53 回日本伝熱シンポジウム」共催依頼　2016 年５月 24～26 日(大阪府立国際会議場)

２）低温工学・超電導学会主催「第 93 回 2016 年度春季低温工学・超電導学会」 2016 年５月 30 日～６月１日（タワーホール船堀）　協賛依頼先：応用物理学会、電気学会、日本機械学会、日本真空学会、日本表面科学会、日本物理学会、日本冷凍空調学会、未踏科学技術協会

３）日本機械学会　動力エネルギーシステム部門主催「第 21 回動力・エネルギー技術シンポジウム」協賛依頼 2016 年６月 16 日（横浜市開港記念会館）

４）日本伝熱学会主催「第 53 回日本伝熱シンポジウム」共催依頼　2016 年５月 24～26 日(大阪府立国際会議場)

５）日本機械学会　動力エネルギーシステム部門主催「第 21 回動力・エネルギー技術シンポジウム」協賛依頼 2016 年６月 16 日（横浜市開港記念会館）

６）産業技術総合研究所主催「第３回 IWSSD(International Workshop on Superconducting Sensors and Detectors)」2016 年 11 月 14-17 日　共催依頼（産業技術総合研究所つくば中央第２）